

「健康な街」の条件

コミュニティにおける関係性の豊かさ——信頼や規範、ネットワークといった社会の特徴——を総称して、「社会関係資本 (social capital)」という。一見、健康とは無関係に思えるこの社会関係資本が、健康情報の共有やストレスの軽減などをもたらすことで、地域の健康水準を向上させるのではないかと考えられている。

私たちは、地域の事情に詳しい保健師などの情報をもとに、ある小さな街に注目して、社会関係資本と健康の関連を探った。AGES プロジェクトによる高齢者対象のアンケート調査 (11,876 名の有効回答) から、この街の住民は健康により行動をとり、精神的・身体的な健康状態も周辺地域に比べて良好であることが示された (図 1 参照)。たとえば、タバコを吸う人の割合は 7.1%に過ぎず、周辺地域 (12.6%) に比べてかなり低い。

しかしこの街の平均所得は周辺地域と大きく違わない。したがって、経済的な豊かさは健康な街の条件ではない。むしろ特徴的な条件は、住民の助け合いの規範意識が高く、趣味やスポーツなどの水平的な組織への参加が著しく多い点、つまり社会関係資本の豊かさに求められた (図 2 参照)。さらにこの街は、住民の多くが県外からの転入者であり、同じ企業の社員とその家族であるという特殊な環境にある。このことが地域の豊かな社会関係資本を支える、街に不可欠なもう一つの条件となっている。

健康は個人のもの、と思われがちである。しかし本研究の結果は、社会関係資本の豊かさや、さらにはその街の成り立ちといった、地域レベルの条件を考えることの重要性を示唆している。

(本内容は、以下のシンポジウムにて報告しました。)

Hanibuchi, T. 100 years enough? General trends and place-specific relations, between history and social capital. Social Capital and Health: Cross-National Comparative Perspectives, June 19 2009, Harvard Center for Population and Development Studies, Cambridge, MA.

埴淵知哉 (立命館大学・日本学術振興会特別研究員)

(E-mail) info@hanibuchi.com

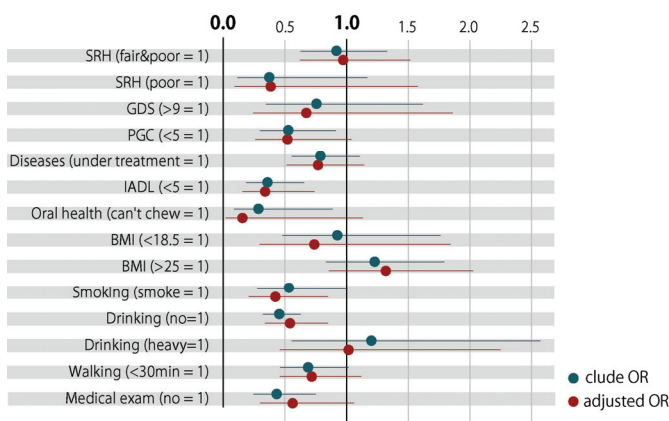


図 1 各種の健康指標における「健康な街」の住民の傾向 (オッズ比)

※1.0 より小さい値の場合、その街の住民がより健康的であることを示す。

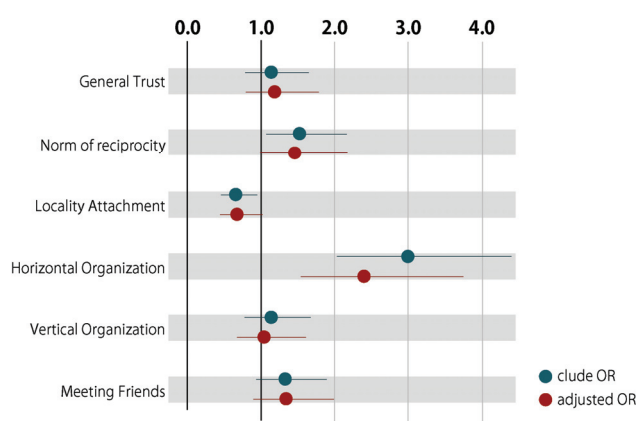


図 2 各種の社会関係資本指標における「健康な街」の住民の傾向 (オッズ比)

※1.0 より大きい値の場合、その街の社会関係資本がより豊かであることを示す。